

学校法人滋慶学園 東京ウェディング・ホテル専門学校  
2025年度学校関係者評価委員会 結果報告書

日時 2025年5月20日(火)10:00~12:00 第1校舎 201教室

## ●学校関係者評価委員

## 【委員氏名】

古賀 優希	卒業生代表	株式会社エスクリ ラグナヴェール アトリエ
橋本 みか	保護者代表	ウェディングプランナー科3年 在校生保護者
森 章	高校関係者	拓殖大学紅陵高等学校 学校長
沼倉 英里	近隣関係者	行船管理有限会社 代表取締役 副社長
石渡 雅浩	業界代表	株式会社ウェディングジョブ The Professional Wedding 編集長
工藤 綾乃	業界代表	株式会社八芳園 プロデュース事業部 総支配人室

## 【学校側参加者】

尾崎 哲則	東京ウェディング・ホテル専門学校 学校長
阿部 憲一朗	学校法人滋慶学園 食・ウェディング分野 運営本部長
山浦 雄矢	東京ウェディング・ホテル専門学校 事務局長
館脇 康郎	東京ウェディング・ホテル専門学校 教務部長・ウェディングプランナー科学科長
岡 覚子	東京ウェディング・ホテル専門学校 キャリアセンター長・ウェディング科/総合ウェディング科学科長
松田 由紀	東京ウェディング・ホテル専門学校 ウェディングプランナー科リーダー
霜井 理名	東京ウェディング・ホテル専門学校 ウェディング科/総合ウェディング科リーダー
小苗代 正人	東京ウェディング・ホテル専門学校 学生サービスセンター長
我妻 優子	東京ウェディング・ホテル専門学校 教務事務担当

## (学校関係者評価委員の評価および意見)

点検・評価項目	評価委員からの評価 優れている…5   適切…4   努力課題あり…3   改善が必要…2   全く出来ていない…1	評価委員よりの御意見
1 教育理念 目的・育成人材像	5.0	教育目的が明確化されて教育カリキュラムも統一されている。(工藤委員) 専門学校での3年制教育は特色ある教育活動であり良い。(橋本委員) 理念・目的・育成人材像がしっかり定められていて、HP 等にもわかりやすく公開されている。(沼倉委員) 実学教育・人間教育・国際教育を教育の理念に掲げ、学生・保護者・業界・高等学校・地域からの信頼を得て学校は発展するとの理念に共感。(森委員) 教育理念がしっかりと定められていることにより、業界で活躍できる人材育成3年制教育により、就職活動だけにフォーカスするのではなく、教育理念に基づいた真の人材育成をおこなっている。(石渡委員)

2 学校運営	5.0	<p>中長期事業計画と短期事業計画により先を見た運営をしつつも、時代の変化に柔軟な対応がなされていると思う。(沼倉委員)</p> <p>Teams やサイボウズ Garoon の活用など、時代に合わせた情報システム化などに積極的に取り組んでいる。(石渡委員)</p> <p>マイクロソフトの研修・生成 AI の研修を取り入れて最新の情報管理をしていることは評価の材料。(森委員)</p>
3 教育活動	5.0	<p>カリキュラム編成会議や、講師・職員の研修の定期的な実施、非常勤講師と教務責任者の面談により、授業内容の改善に取り組んでいる。業界の状況に合わせて柔軟な教育活動を実践している。GPA を導入し、その評価内容を教育内容に反映している。(石渡委員)</p> <p>きちんと教育課程方針が定められ運用されていると。実習期間が多く、働くことを通じての意識づけや、キャリア教育にもつながっている。(沼倉委員)</p> <p>3年制カリキュラムにより余裕をもって就職活動に取り組むことができている。資格取得にも意欲をもっていける環境、体制が良い。(橋本委員)</p> <p>「喜びと感動を与えられる提案型人材を育て上げたい」との人材育成像は共感することが多い。3年制の教育システムが教育目標の到達レベルを上げている。(森委員)</p>
4 学修成果	4.5	<p>資格は全国平均を上回った合格率がでているが、プライダルコーディネーター3級は難しいと思うが全員合格を目指してほしい。(沼倉委員)</p> <p>資格取得が自分のキャリアにどう活かすことができるか、ここでの努力で何をえられるのか・「資格を取る」ことが目的ではなく、成果を学生が理解することで取得の意味が出てくる。(工藤委員)</p> <p>就職率向上は毎年図られているが、離職率の数字が気になる。就職は学生が自分の能力・興味関心がある企業にどれくらい就職できたかを計るもので、本来希望しなかった企業への就職斡旋は離職率を高めると思う。(森委員)</p> <p>離職率を下げる取り組みは必要。但し、3年制になり実際の仕事にふれる機会が増えれば理想とのギャップが少なくなると思う。(古賀委員)</p> <p>1年以内の離職率が前年と比べて高い水準となったが、業界内転職など必ずしもネガティブな業界離脱とは限らない。(石渡委員)</p>
5 学生支援	4.6	<p>学園全体で、滋慶トータルサポートセンターを設置し、精神面で不安を抱える学生や教職員にカウンセラーが対応する体制や、学園附属の医療機関である慶生会クリニックを設置するなどサポート体制は充実している。ただ、近年増加傾向にある退学者の低減は更に強力で推し進めるべき。(森委員)</p> <p>就職は3年制のメリットを活かしてウェディングプランナー科は32名中31名が学んだ分野に正社員として就職するなど成果を上げている。一方で、退学率が前年の4.8%から5.2%と上昇している。スタッフ全員がカウンセラー資格取得をするなど、その低減に向けて努力している。(石渡委員)</p> <p>学生相談・奨学金・健康管理等に関しては関連企業との連携もあり、しっかりしたサポート体制ができている。退学率に関しては学生への意識づけをしていく必要があるが、言葉で伝えることにプラスして動画コンテンツを見せる党、学生が受け取りやすいアプローチをしていくのも有効ではないか。(沼倉委員)</p>

6 教育環境	5.0	<p>他校と比較しても連携企業は多い。だからこそ教員が企業理解をする必要性がある。半年間のウェディングプランナーアシスタント実習は働くことへの理解を深めるとても良い経験だと感じる。(工藤委員)</p> <p>プランナー実習は実査の仕事での自信につながる。(橋本委員)</p> <p>学校施設の管理・メンテナンスは定期的に関連企業が点検する万全の体制ができています。図書室の利用減少は Teams の活用で必要な資料が閲覧できる状態にしてあることは評価できる。(森委員)</p> <p>実習先が内定企業に繋がるケースが増えるなど、実習が単なる職業体験でなく、企業と学生にとってよいマッチングの場として機能している。(石渡委員)</p> <p>実習期間が長く、現場のニーズやどのような人材になりたいのかを意識しやすい環境ができています。(沼倉委員)</p>
7 学生の募集と受け入れ	4.3	<p>私学経営にとって最大の根幹は学生募集と受け入れ体制にある。定員割れが生じた場合には、それまでの募集のあり方を見直す必要がある。HP の活用・オープンスクール・高校の進学説明会が主な募集だと思う。ただ、高校が開催する説明会は企画会社が選定した大学・専門学校が呼ばれるので滋慶学園の全ての学校が呼ばれるわけではないので、在校生の母校と文化祭・HR・昼休み時間の活用で知名度・存在感の掘り起こしが必要。(森委員)</p>
8 財務	5.0	<p>財務体制の基盤は安定した学生募集と的確な組織運営だと思う。滋慶学園として、他の専門学校が学生募集で苦戦し閉校・撤退の動きがある中で健全経営ができていて高い評価ができる。計画に沿って予算を計上して適切に管理運営している。(森委員)</p>
9 法令等の遵守	5.0	<p>法令等の遵守に関わる対策はしっかりとおこなわれている。(沼倉委員)</p> <p>コンプライアンスを遵守する形で学校運営がされている。(石渡委員)</p>
10 社会貢献	4.1	<p>ハウスウェディングの実施は素晴らしい取り組み。沖縄県との就職支援協定も加わり、今後の展開に期待したい。(沼倉委員)</p> <p>ウェディング業界特化型の就職イベントでのボランティアで学生が活躍している。(石渡委員)</p> <p>卒業生の出身高校の文化祭などの学校行事、各地の名所旧跡での模擬挙式演出が学校の PR と地域貢献になる。(森委員)</p>

(学校関係者評価の活用について)

本校の教育システム、学生サポート体制について各評価委員から概ね高い評価を頂いた。特に 3 年制課程の特性を活かした教育への評価が高い。そのなかで現状の主な課題は学生募集と退学率である。学生募集においては学校の強みをいかに伝えるかオープンキャンパスやHP、SNSでの工夫を考えていくとともに、3年制で学んでいる学生像を見せていきたい。退学率については、委員から3年制の学習効果から離職率とともに今後低減が期待されている。特に総合ウェディング科ではコース選択や選択科目の履修方法の変更による学び方の修正、チューター制の一層の活用等をおこなっていく所存です。

(次回日程)

2026 年 5 月中に実施

以上